

<b>ビーム 中部</b>	愛知	平成 25 年 6 月 1 日 No.2013-1
	岐阜・石川	公益社団法人
三重・福井	日本放射線技術学会 中部部会	
静岡・富山	事務局：〒920-8641	
	金沢市宝町 13-1	
	金沢大学附属病院放射線部内	
	TEL:076-265-2010	
	FAX:076-234-4311	

巻頭言

「クイズ」

名古屋大学大学院医学系研究科 小山修司

「さて、私は誰でしょう。」

学会や勉強会に行くと、私にとって難しいクイズを出してくる方がいらっしやいます。答が出て来ないことが多いのですが、もちろん顔も声もしっかり憶えています。昔と少々変わっても大丈夫です。かつての学生です。



年のせいといいたくないのですが、弁明させていただくと、私の大学では、毎年、45 名ほどの卒業生と、さらに 10 名ほどの大学院生が社会に巣立っていきます。私が、大学(当時は短大でしたが)に赴任して何年かは、ひとりひとりの名前を顔と一致させてしっかり憶えていました。が、さすがに 20 年も経ちますと、掛ける 20 で、直近の卒業生や印象に残った人、自分の指導生たちは憶えています。その他全員というと、名前を忘れてしまいます。失礼のあった方々、この場を借りてお詫びです。ごめんなさい。

ところで、最近、本屋で立ち読みをしておりますと、興味深い内容が目に入りました。皆さん、よく持たれる疑問だと思います。

「なぜ、年をとると時間が早く過ぎるのか？」

心理学の立場で、いくつかの理由が解説されていました。皆さんも経験があると思いますが、子供の頃は経験が少ないので、一つ一つのイベントの重みが大い、それまでがとも待ち遠しい、すなわち時間が長く感じられるというもの。また、経験という意味で重なり

ますが、年を重ねると、経験を何度も重ねている事柄に対して無意識で過ごしている時間が  
多い。皆さん、毎日、同じ通勤手段であると、その日の通勤の記憶が残っていないのを  
経験したりしませんか。

そして、例えば、5歳児の1年と50歳の大人の1年では、全体の時間に対する1年の  
長さが異なる。納得です。

関係ないかも知れませんが、古い知識に新しい知識を積み重ねて、人類の文明は発展  
してきました。科学技術はその最たるものであると思います。我々の医学放射線技術科学  
もその中に含まれます。先ほどの時間の感じ方の話とは異なり、今までの知識も十分に吸  
収した上で、さらに新しい知識を積み上げていかななくてはなりません。そこで、コマーシャ  
ルです。中部部会では、従来からの知識、すなわち基礎的な内容と、新しい知識の両方  
を意識しつつ、セミナー等を多数開催しております。今年度も、第6回中部放射線医療技  
術学術大会(CCRT, 11月)、2回の部会セミナー(6月, 来年1月)をはじめ、立山セミナ  
ー、様々な技術セミナー(各研究会企画)など企画されておりますし、また、本部企画であ  
る医療被ばく測定セミナー(7/27)も共催で開催が予定されています。さらに他学会との共  
催・後援(日本磁気共鳴医学会安全性講演会 10/6 など)も予定しております。これらを、  
ぜひともご活用いただいて、日々の診療にお役立ていただければ幸いです。

このくだり、ちょっと強引でしたか。最後に、卒業生の皆様、クイズに答えられなくても怒ら  
ないでくださいね。

## 会告

放射線技術の伝承と探求

第 6 回中部放射線医療技術学術大会開催に向けて

第 48 回日本放射線技術学会中部部会学術大会

大会長 松浦 幸広

平成25年11月9日(土)・10日(日)の2日間、石川県地場産業振興センターにて第 6 回中部放射線医療技術学術大会を開催する運びになりました。開催テーマは、「放射線技術の伝承と探求」、サブテーマに「七色の糸を紡いで未来への架け橋を築く」です。今回のテーマは、開催地 金沢という和のテイストを意識し、伝承というワードを選択しました。伝承とは、知識や技術の継承および後世への伝達を意味しているため、やや保守的な印象がありますが加賀友禅、輪島塗、蒔絵、金箔工芸など石川県にあまたある伝統工芸の継承者の方々は口々に、攻める、挑戦というワードでその伝統の底流を変えずに新しいものを創造していくことが真の伝承と言っています。これは、私たち放射線技術にも通じるのではないのでしょうか？アナログからデジタルというドラスティックな変化はあるものの X 線撮影法そのものは先人からさほど変化なく、被ばく線量低減や時間・空間の高分解能化などに日夜、会員諸氏が研究し挑戦している姿などは、まさに多くの伝統工芸士たちに重なります。これからも、様々な装置、薬剤、方法等が画像診断や治療に大きな変革をもたらす時、私たちは決して臆することなく、今までの技術の歴史を紐解いて新たな技術へ挑戦しなければなりません。

その一助となるよう実行委員会を立ち上げ、会員諸氏に少しでもお役に立てるような企画を鋭意計画しております。詳しくは近日アップされる中部部会ホームページにて公開いたします。また、7 月には、演題募集も行います。日頃の成果を是非ご発表ください。

11月の金沢は、景観の美しさもさることながら、おいしい食が豊富な季節です。放射線技術、特に学術に優れたこの中部7県の先生達と、おいしいものを食べ、未来を語り、明るく前向きな気持ちになるひと時を一緒に過ごしましょう。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

## 第 6 回中部放射線医療技術学術大会演題応募要項

### ・演題申込資格

発表者は、日本放射線技術学会正会員および学生会員、日本診療放射線技師会員、中日本地域の技師会員に限ります。

非会員の方が発表される場合には、あらかじめいずれかの団体への会員登録が必要です。

### ・演題申込方法

演題登録は、UMIN オンライン演題登録システムを使用して行います。

第 6 回中部放射線医療技術学術大会 HP (<http://square.umin.ac.jp/ccrt2013/>) の『演題登録』からオンライン登録ページへお進み下さい。

登録時の注意事項等、演題登録画面上に記載してありますので、ご参照下さい。

### ・募集期間

平成 25 年 7 月 1 日(月)～ 平成 25 年 8 月 31 日(土)

### ・発表抄録

発表抄録は、400 字以内です。図表は使用せず、目的・方法・結果・考察の各項目ごと、わかりやすく記述して下さい。

### ・演題の採否、発表日時

応募演題の採否、発表日時の決定は、プログラム委員会を経て大会長に一任させていただきます。演題採用通知は、10 月初旬ごろまでにメールにて通知いたします。

### ・演題登録に関する問い合わせ

第 6 回中部放射線医療技術学術大会事務局プログラム委員

[ccrt-office@umin.ac.jp](mailto:ccrt-office@umin.ac.jp)

## 技術セミナーのお知らせ

### CT研究会

#### 第 14 回 CT 立山セミナー

日時：平成 25 年 7 月 13 日(土), 14 日(日)

場所：立山国際ホテル

定員：60 名

概要：今回は「dual energy の基礎から臨床応用」というテーマで、CT 値の基礎から dual energy の臨床応用について学びます。また特別講演では大阪物療大学の岩元新一郎先生に「X 線エネルギー情報の CT 画像化」と題してご講演頂きます。なお、本セミナーは X 線 CT 認定技師および肺がん CT 検診認定技師のポイントが付きます。詳細はホームページをご覧ください

### 画像研究会

#### 第 50 回 画像研究会の案内

日時 9 月 28 日 (土曜日) 14 時～17 時

会場 金沢大学 保健学科

「Digital mammography における被ばく低減の最前線」

Full field digital mammography (以下, FFDM) の登場によって, film-screen system で撮影していた頃の撮影理論とは異なる手法が良いとされつつある。

FFDM において, 近年提唱されている新たな手法について紹介する。

#### 1. Digital mammography の基礎的画質特性について

基調講演「mammography の画質特性, 被ばく線量と乳癌検診に対する考え方について (予定)」

## 2. Digital mammography の被ばく低減のために高電圧化の有用性

Digital mammography となり高電圧化の有用性は、数多く指摘されているが、近年では極薄い乳房に対しても、Mo/Mo(モリブデンターゲット/モリブデンフィルタ)ではなく、ロジウムやタングステンを用いた方が、同一画質において、被ばく低減が可能であるとされる。これについて、物理評価とシミュレーション解析を用いて検討する。

## 3. photon counting mammography の臨床技術について (予定)

## 4. Tomosynthesis の臨床技術について (予定)

## 5. その他、digital mammography について被ばく低減に関する最新の技術紹介

### MRI 研究会

#### 第 53 回 MR 研究会(北陸ブロック)のお知らせ

日時：平成 25 年 8 月 24 日(土)

場所：金沢医科大学 病院本館 4 階 C42 講義室

概要：産婦人科領域において、今や MRI は欠かすことの出来ない検査であることは周知の事と思います。今回は産婦人科領域の MRI について専門の御先生方にご講義して頂くことで、今一度日々のルーチン検査 について振り返り、明日からの検査をさらに質の高いものにしていくことを目的に企画しました。

### 乳房画像研究会

#### 第 42 回中部部会乳房画像研究会

日時：平成 25 年 7 月 13 日 13:00~16:30

場所：愛知県がんセンター中央病院

概要：乳房トモシンセシスとモニタの管理についての講演を行います。「トモシンセシスの基礎から最新まで」をシーメンスの大塚さんに、「臨床での使用経験」を石川県中央病院の高森さんに、ソフトコピー施設評価のことを踏まえ「モニタの管理」を東陽テクニカの清水さんに講演いただきます。

## 第38回北陸放射線治療研究会開催のご案内

桜の便りが次々に聞かれるこの折、皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。  
さて、第38回北陸放射線治療研究会を医療法人社団藤聖会五福脳神経外科富山サイバーナイフセンターのご協力のもと「サイバーナイフの基礎技術と治療」と題して実践に即した臨床講演と技術講演を開催いたす運びとなりました。また、当センターの施設見学を実施し、北陸唯一の最新治療システムの紹介もいただく予定であります。皆様にはご多忙の中、ご参集いただきますようお願い申し上げます。

### 記

日時 平成25年7月6日(土) 午後2時～5時

場所 講演会場「富山県看護協会研修センター」

見学会場「富山サイバーナイフセンター」上記講演会場に隣接  
富山市鶴島(ひよどりじま)1837-5(地図参照)

### プログラム内容(仮)

1:30 受付

2:00 「サイバーナイフによる高精度放射線治療」水野 英一 先生

3:00 「サイバーナイフの精度管理」菊地 壮一 先生

3:30 「サイバーナイフの最新情報」日本アキュレイ株式会社

4:15 富山サイバーナイフセンター施設見学とシステム紹介

なお、会場整備費として500円を徴収いたします。

### < 問合せ先 >

富山大学附属病院放射線部 吉田 寿

E-mail kotobuki@med.u-toyama.ac.jp Tel. 076-434-7826

## 交通のご案内



- 1.富山西インター下車 富山方向へ→「有沢線」羽根東交差点を左折→直進
- 2.富山インター下車 富山駅方向へ→城南公園前交差点を左折→「有沢線」羽根東交差点を右折→直進
- 3.8号線バイパス 田尻交差点を南下→「草島線」直進



サイバーセンター、看護協会研修センターの駐車場には限りがあります。

満車の場合は五福公園の駐車場(無料)をご利用ください。

【 NAVI 検索キー:富山県看護協会 076-433-5680 富山サイバーナイフセンター  
076-443-6200 富山市鶴島1837 】



### 第 58 回中部超音波検査フォーラム

日時：平成 25 年 6 月 22 日(土)～23 日(日)

場所：名古屋

定員：30 名

概要：腹部実技講習会 2 日間(土日・イブニング含む)30 名

腹部講義のみ(土) 20 名

イブニングコース(土:17:30～19:30) 20 名

### 第 59 回中部超音波検査フォーラム(開催決定)

日時：平成 25 年 7 月 20 日(土) 13:50～

場所：金沢市

定員：100 名

概要：レベルアップ講義講習会

受付開始 5月下旬から6月初旬予定

### 第 60 回中部超音波検査フォーラム(開催決定)

日時：平成 25 年 7 月 21 日(日)

場所：金沢市

定員：80 名

概要：実技講習会(腹部、血管、整形)

受付開始 5月下旬から6月初旬予定

アンギオ・放射線防護・北陸アンギオ研究会 合同研究会

日時：平成 25 年 6 月 23 日(日) 9:30～15:30

場所：金沢大学附属病院 外来診療棟 4 階 宝ホール

定員：300 名

概要：IVR におけるチーム医療をテーマにしたシンポジウム、ランチョンセミナー、メーカーからの最新情報提供を行います。また特別講演では亀田総合病院の田中美千祐先生より、「Neuro IVR における脳静脈系解剖の知識」のテーマでご講演を頂きます。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

## 事務局からのお知らせ

第6回中部放射線医療技術学術大会では「放射線技術の伝承と探究」をテーマで企画いたします。すべての予定は決定次第中部部会ホームページにアップしますので、今しばらくお待ち下さい。研究会の開催案内はメールマガジンで配信されます。これを機会にメールマガジンに登録されることを強くおすすめ致します。

### メールマガジンを是非ご活用ください

公益社団法人  
JAPANESE SOCIETY OF RADIOLOGICAL TECHNOLOGY  
日本放射線技術学会 中部部会

HOME 概要 学術大会演題申込み チーム中部 リンク・資料

入会案内 メールマガジン登録の案内 学術大会バックナンバー セミナー・イベントバックナンバー

最新、最高の情報発信を目指  
こちらからメールマガジン登録をお願いいたします！

中部部会技術セミナー開催のご案内

CT研究会  
第13回CT立山セミナーのご案内  
PDFファイルで詳細を見る  
日時：平成24年7月7日(土)、8日(日)  
場所：〒11-1, 0184-1211

住所変更などの会員情報の変更は技術学会本部のホームページ(<http://www.jsrt.or.jp/>)の入会案内からお願いします。

### 中部部会事務局の連絡先

〒920-8641 金沢市宝町13-1 金沢大学附属病院 放射線部内  
公益社団法人 日本放射線技術学会中部部会  
TEL: 076-265-2010 FAX: 076-234-4311  
E-mail [raddiv@med.kanazawa-u.ac.jp](mailto:raddiv@med.kanazawa-u.ac.jp)  
URL : <http://jsrt-chubu.org/index.cgi>

公益社団法人 日本放射線技術学会中部部会 ビーム中部 2013年 第1号  
発行人：鈴木 昇一  
編集：大橋 一也